

WE しもやま
LOVE

下山を担う仲間を増やそう



定住・移住

下山中学校文化祭で下山魅力発見ツアーを発表

里楽暮住（りらくす）しもやま会は、下山中学校3年生と一緒に、移住希望者を対象とした「下山魅力発見ツアー」の作成を進めてきました。

この取組は、移住・定住施策の一環として、生徒が楽しみながら下山の魅力を再認識し、地域への愛着形成を図ることを目的としています。

これまで、4回の授業に里楽暮住しもやま会の委員がゲストティーチャーとして参加し、下山の魅力についての意見交換や、下山地区の文化、生活、子育てや観光など、生徒ごとに設定した課題へのアドバイス、グループごとに作成を進めるツアー行程や発表資料へのアドバイスなどを行いました。

10月19日（土）に開催された下山中学校文化祭では、舞台発表として、授業を通して学んだ下山地区の人口や移住・定住対策に関する活動などを発表し、続いて、グループに分かれて作成したツアー行程の発表を行いました。

発表では、生徒、保護者や里楽暮住しもやま会委員など多くの聞き手に対し、クイズなども盛り込みながら、調べたことや作成したツアーについて自信をもって発表する生徒の姿が印象的でした。



▲舞台発表の様子



▲グループごとの発表の様子



しもやまバス協賛金募集のご案内

【しもやまバス協賛金制度のご案内】

詳細はこちら ▶



下山地区公共交通協議会では、しもやまバスの利用促進を目的に協賛金制度を創設しました。1口1,000円からどなたでも申込が可能です。集まった協賛金は利用促進と利用者へのサービス向上のため、中高生や運転免許返納者へ回数券の配布キャンペーン等で活用します。ご協力よろしくお願いします。

特典の内容	対象	協賛金の額
氏名などの掲載	全ての協賛者	指定なし
バス停の設置	事業所又は団体	5口以上
車内広告の掲示	事業所又は団体	10口以上



ラリー応援期間「しもやまラリーよってらっ祭、みてらっ祭」が始まりました！

下山地区内を彩る街灯タペストリーやポスター、郵便ポストやしもやまバスなどに貼られているステッカーには気付かれませんか？

下山地区におけるラリー応援期間「しもやまラリーよってらっ祭（しゃい）、みてらっ祭（しゃい）」がいよいよ始まりました！（応援期間：10月1日（火）から12月1日（日））

最初のイベントとして、10月6日（日）に開催された下山地区体育大会では、ラリードライバー三枝聖弥選手によるデモ走行が行われ、三枝選手の運転するラリーカーに地区内の小中学生が同乗し、迫力ある走りを体感しました。また、しもやまラリー実行委員会のラリーPRブースでは、WRC参戦中の勝田貴元選手への応援フラッグの寄せ書きコーナーや、フォトシール作り、謎解きイベント「五平マンからの挑戦状」など、昨年よりパワーアップした企画により、多くの参加者で賑わいました。

応援期間中は、イベント開催やオリジナルグッズの販売など、ご家族やお友達と楽しめる企画が盛りだくさんです。この機会にラリーを身近に感じていただき、11月24日（日）に開催されるWRC三河湖SSに向けて、ラリーで下山地区を盛り上げていきましょう！



▲ラリーカーのデモ走行



▲みんなで記念写真

イベント詳細等はこちら ▶



中学生が消火栓等の使い方を学びました

9月24日（火）に豊田市消防本部下山出張所は下山中学校の生徒に消火栓等を使った消火活動の技術指導を行いました。この取組では、中学生が消防用ホースの延長、放水、消火栓の蓋の開け方などの体験を通じて消火活動の重要性を学びました。

下山地区には、火災発生時に住民が初期消火活動を行うことができるように消火栓やホース格納箱が多数設置されています。それらを住民が使って消火活動を行うことで、火災の拡大を最小限にとどめることができます。

参加した中学生からは、「蓋の開け方を知らなかったので勉強になった」「火事が起きた時は、勇気をもって消火活動をしようと思う」などの感想が聞かれ、とても実りのある取組となりました。

下山出張所は、若い力を生かした地域防災力の向上を目的として、このような取組を続けていきます。これからの季節は、空気が乾燥して火災が発生しやすい時期になります。火の取り扱いには充分ご注意ください。



▲放水体験の様子



▲ホース格納箱

ロープで木登り ツリーイング体験会in三河湖 開催レポート

10月5日（土）、雨が心配される中、「ロープで木登り ツリーイング体験会in三河湖」を開催しました。このイベントは、三河湖の豊かな自然の中で、森遊びの楽しさを通して森や樹木の大切さを知ってもらおうと企画し、地区内外から27人が参加しました。

体験会は、午前、午後 各2回、計4回に分けて行われ、はじめにインストラクターから、ロープの使い方と注意点についての説明を受けました。その後、参加者は、登るコナラの木に触れ「一緒に木登り楽しもうね、よろしく!」と対話をし、最高点に向けて登り始めました。腕と足の使い方のコツをつかみ、軽々と最高点までたどり着き、2度、3度と繰り返し登る人もいれば、苦勞してやっと登りきった人など様々でしたが、最高点まで登ったどの参加者も、木の上から見る自然豊かな三河湖の眺望に笑顔が溢れていました。また、木に登る子どもたちに下から楽しそうに声援を送る保護者の姿も印象的でした。体験後は再び木に触れ、「ありがとう、また遊ぼうね」と感謝の気持ちを伝えていました。

参加者からは、「見た目は難しそうだったけど、やってみると意外にスイスイ登れて、違う場所でも開催して欲しい」「風が気持ちよかった。もっと高いところまで登ってみたい」といった感想を話してくれました。



▲インストラクターの説明を聞く参加者



▲親子で木登り体験をする様子

湖と森の音楽祭in三河湖を開催します！

リニューアルオープンした三河湖テラスこりん（旧三河湖観光センター）で、12月14日（土）に「湖と森の音楽祭in三河湖」を開催します。三河湖をバックに、心地よい音楽をお楽しみください。

■概要 ①午前の部：アイリッシュミュージック 小松 大 植松 波音
10:30～12:00（開場 10:00）

②午後の部 JAZZ & Bossa Nova 大塚 桜 片桐 一篇
13:00～14:30（開場 12:30）

■場 所 三河湖テラスこりん
豊田市羽布町鬼ノ平1-114

■入場料 ①② 各1,000円 ワンドリンク付き（小学生以下無料）

■申込み 申込みフォームまたは申込票をメール（karen@hm12.aitai.ne.jp）か
FAX（90-4121）で 香恋の館 へ提出

■定 員 ①② 各60人

■締 切 12月6日（金）

■問合せ 香恋の館 TEL：0565-90-4120



▲湖と森の音楽祭チラシ



▲申込みフォーム

トヨタテクニカルセンター下山で交流イベントを開催しました

10月20日（日）、トヨタテクニカルセンター下山で、TTC-S AUTUMN FESTIVALが開催されました。社内イベントでありながら、テストコースがある下山地区と密接な関係を築いていきたいと、下山地区在住の住民をご招待いただきました。

飲食ブースでは、下山地区内の飲食店が8店舗出店し、すれ違う皆さんからは、「美味しいね！下山って色々なお店があるんだね」と言った声を聞くことができました。出店したお店は、ほとんどが完売となり大盛況でした。

屋内の出展ブースでは、しもやまラリー実行委員会によるラリーの啓発活動が行われました。ラリーにまつわる謎解きイベントや背景が神（じん）ジャンクションになるオリジナルフォトシールづくりは、多くの家族連れの方が楽しんでいました。また、ステージイベントとして下山地区在住のラードライバー、ミンミン（本名：ホン・ミンウィ）さんと豊田市しもやま観光PR大使の矢上彩乃さんによるトークショーが行われ、ラリーの魅力を伝えました。

このイベントを通して、普段は働く場所である下山地区の名物や観光について知ってもらえる良い機会となりました。



▲飲食ブースの様子



▲トークショーの様子



連載コラム「せっつが行く！ Vol.18」

“下山の声援を背に”小島亨介選手応援ツアーに密着



9月18日（水）、30度を超え、残暑厳しい豊田スタジアムに、小松野町出身のJリーガー小島亨介選手が豊田に帰ってきました。小島選手は、下山FCから名古屋グランパスの下部組織と早稲田大学を経て、大分トリニータでプロ公式戦デビューを果たし、現在はアルビレックス新潟の守護神として、背番号1を背負い新潟ゴールを守っています。年代別の日本代表で46試合出場し、A代表にも選出されるなど、下山が誇るアスリートの一人です。そんな小島選手を豊田スタジアムで応援しようと、和合自治区と下山FCの皆さんが主体となり、約40人が参加して応援ツアーが行われました。

当日は、赤い観客席の中でも小島選手からよく見えるようにと、有志で作った黄色を基調としたオリジナルタオルを両手いっぱい広げ、ウォーミングアップの時から精いっぱいの応援をしていました。試合は残念な結果でしたが、ゴールマウスを守る小島選手の姿に参加者からは「元気をもらった」「来年はもっとたくさんの応援を連れてくる」「地元同士のつながりは最高だね」といった声が聞けました。また、応援席に向かい、感謝のお辞儀をする小島選手を労うように「おつかれさん。これからもがんばれよ！！」とあたたかい地元の方の声が聞けました。



▲オリジナルタオルを掲げての応援の様子



▲試合後、奮闘した小島選手を労う様子



10月13日（日）に稲武地区で開催された第39回シロキヤラリーにミンミンさんが出走しました。今回の記事では、しもやまラリー実行委員会のメンバーがミンミンさんの応援に駆けつけた様子をお届けします。



本名：洪銘蔚（ホン・ミンウイ）
下山地区在住のラリードライバー
豊田市わがまちアスリート

シロキヤラリーは2024中部・近畿ラリー選手権のシリーズ6戦となります。この選手権は年間6戦で構成されているため、シロキヤラリーはシーズン最終戦となります。ミンミンさんは数あるクラスの中でDE-2にエントリーされていました。（クラスは、車両の排気量や重量などによって概ね6クラスに分けられています。）

【ミンミンさんへのインタビュー】

Q：レースに向けての意気込みはどうか？

A：今シーズンから車両を変更したことで、DE-6からDE-2へクラス変更をして不安いっぱいだけど、楽しんで走ってきます♪

Q：サービスパークではどのように過ごしていますか？

A：木村裕介選手（コドラ）と一緒に午前中に走ったSSのコース状況の振り返りをして午後のSSに備えています。あとは、美味しいごはんを食べてエネルギーチャージです！後半も頑張ります！

【今回の学び】

サービスパークとは、競技時間の長いラリー競技において、整備士によるマシンの修復作業や選手が補給する食事を提供することができる前線基地だと教えてもらいました。取材で訪れたサービスパークでも多くの整備士が車両整備のために慌ただしくしている様子や、選手がしっかりと休息がとれるようにチームスタッフによる炊き出しを見学することができました。



▲しもやまラリー実行委員と
ミンミンさん サービスパークにて



▲コドラとペースノートチェック

下山地区データ

人口
3,948 人
(-84)

男性
1,967 人
(-35)

女性
1,981 人
(-49)

(10月1日現在)
※（）は前年同月比
世帯数
1,644 世帯
(3)

発行情報

編集・発行

お問い合わせ

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）
毎月15日発行

TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344

MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





【 社協下山支所だより 】

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp

身体も心も元気で暮らそう



健康・福祉

第2回おいでんクラブ大運動会を開催しました！

10月10日気持ちのよい秋晴れの中、おいでんクラブ大運動会を開催しました！

勝ちにこだわった熱い戦いぶり、仲間にかける声援と歓声がまどいの丘にこだましました。「一生懸命に楽しむ！」をテーマに、どの顔もやり切ったという笑顔いっぱいの日となりました。



グラグラピンチタワー

洗濯ばさみをつないでより高くバランスよく！



コインを手にじゃんけん勝ち抜きゲーム
頂点に立つのは誰だ！

おいでんクラブでは、年を重ねても自分らしく、いきいきとした生活が送れるよう応援しています。おいでんクラブに参加して「ずっと元気」を手に入れませんか。

お問い合わせ：まどいの丘おいでんクラブ ☎90-4005 古田

～しもやまで輝くひと・グループ紹介 Vol.6～

祝百寿 おいでんクラブ利用者様が100歳を迎えられました！

笑顔が素敵な原田美穂子さんです。おいでんクラブをご利用いただき、7年になります。「なーんにも悩みはないし、自分のしたいことしている。」とおっしゃいます。ユーモアのある言葉や粋な発言にわたしたちはいつも元気をいただいています。これからも末永くおいでんクラブをご利用ください！





下山交流館だより

連絡先

TEL:0565-91-1650

FAX:0565-91-1030



開館:午前9時～午後9時 休館日:月曜日(祝日、振替休日を除く) HP:<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>



交流館事業案内



ハンドメイド講座②

シルク・コサージュ・ワークショップ

【日 時】1月24日(金) 14時～16時

【場 所】下山交流館 11会議室

【対 象】どなたでも

【定 員】10人(先着)

【申込み】12月10日(火)

9時30分～

窓口または電話

【内 容】稲武産の繭でコサージュ作り

【参加費】1,000円(材料費込)

【講 師】山中章子氏/帽子・布花作家

アトリエ「アンジェリーク」主宰



やまの保健室ぷらすサロン



【日 時】12月19日(木) 10時～12時

【場 所】下山交流館 多目的ルーム

【対 象】どなたでも

【内 容】脳トレ体操、コーラスほか

【参加費】無料

看護師による健康チェックや相談ができます。

みんなでコーヒーなど飲みながら楽しいひと時を

過ごしましょう!



10月17日の様子



お知らせ



子育てサロンぷらす

ちょっと
だけ

おおきなおへやであそぼう!

毎月第3木曜日

土日(不定期) 10時～14時

11会議室を開放! みんな遊びに来てね♪

子育てサロン

毎週木曜日は

子育てサポーターさんの日

ピンクのエプロンをつけた子育てサポーターさんが毎週木曜日10時から12時まで活動中です。ぜひ遊びにきてください。

子育ての悩みや相談など
気軽にお声掛けください。



12月のロビー展示

『カルトナージュ作品展示』

宮崎エリカ氏

宮崎先生のハンドメイド講座を12/8②に開催します! 詳しくはHPをご覧ください

学習室の無料開放!

学生の方を対象に、利用のない部屋を学習室として無料開放しています。ご利用の方は窓口にお申し出ください。

利用時間 午前9時～午後8時
(中学生以下は午後5時まで)

令和7年下山地区二十歳のつどい

【日 時】令和7年1月12日(日)

午前11時(受付10時15分～)

【会 場】下山基幹集落センター

【対 象】平成16年4月2日～

平成17年4月1日生まれの方

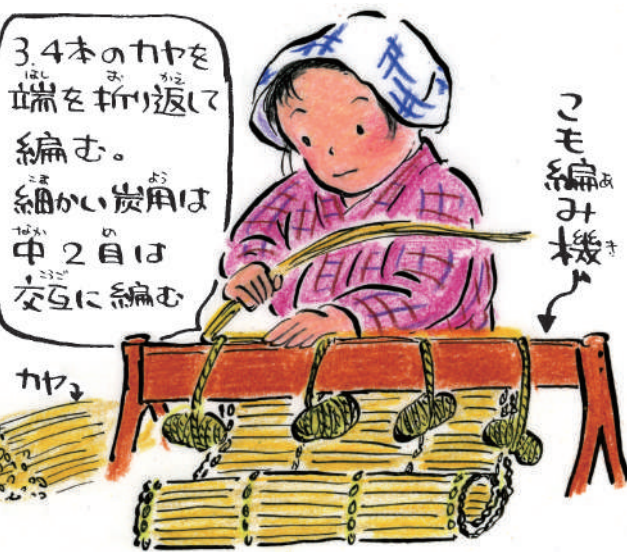
※詳細は広報とよた10月号に掲載
または豊田市のホームページをご覧ください。



炭俵

絵く文 なかむらひ

炭俵は炭の入物。昔は炭を炭俵に入て運んだ。焼いた炭を入れる専用の炭俵があった。山灰は堅いので、稲わらで編む炭俵とは違って、屋根草にも使う。軽くて丈夫なカヤスミで炭俵を編んだ。両側のふたにする。枝俵も木の枝を使い、枝をぐるぐる巻いたものや、(枝先の小枝など)を使ってふたにした。たくさん上手に作る家では、夜は炭俵の胴を編んで10枚ずつばってよく、早朝、山へ炭仕事に行く人が買いに来て、いっぺんに買った。



炭俵は10枚を、ひとばりにて売た。



丸い炭俵

四角い炭俵

炭俵は、ぐねぐねかさはるので、山道を背負子に調子よく収まるように、と折って10枚重ねる工夫をしてしる。山では寒から出した炭を、炭俵にきっちり詰めて、背負子で背負って、山から降ろす。俵に詰める時の枝俵は、炭焼さんが大きい炭用には、枝、細かな粉炭には、ぐるぐる巻いた柳の枝など、山で切る準備した。

炭は木より軽いので、なるべくたくさん高く背負うので、冬、沢つたこの下り道は凍って、つるつるすべるのが難しかった。炭は家で使うが、よい炭は20俵くらいたまると、町から炭屋が、まとめて買いに来て、売れた。

はあちちによると、炭俵は昭和38年頃まで作ってた。